

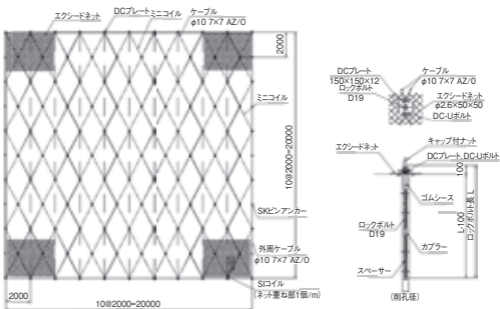
DCネット工法 日鉄神鋼建材（株）

DC（Displacement Control）ネット工法は、所定のピッチで配置された補強材（ロックボルト）、斜面全面に敷設したエクシードネット（高強度金網）、ロックボルト頭部をつなぐケーブルの3構成からなる、斜面の表層崩壊と補強材間の中抜け崩壊を防止する地山補強土工法です。自然斜面もしくは崩壊斜面において、斜面の安定性を向上させ、表層崩壊を防止する効果が期待できます。

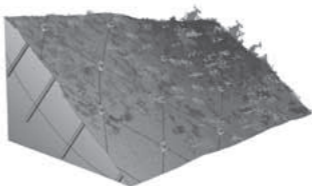
特長

1. 斜面の表層崩壊・中抜け崩壊に対応
対象斜面の安定解析に応じて配置したロックボルトによって斜面のすべり崩壊を防止し、斜面全体に敷設した高強度金網と補強材頭部を繋いだケーブルによって補強材間の中抜け崩壊を抑止します。
2. 優れた施工性・経済性
斜面全体を敷設する高強度金網は軽量なため斜面上で取り扱いやすく、線形が細いため地山の凹凸へ密着して敷設することが可能です。施工性の向上を図ったことから、他工法と比べて経済性でも有利な工法です。また、地表面の全面緑化も可能です。
3. 優れた耐久性
主要部材のうち、ケーブルと高強度金網には垂鉛アルミ合金めっき（一般的な垂鉛めっきと比べて高耐久を有する）による表面処理を採用しています。

展開図



設置イメージ



ご注意とお願い

本資料に記載された技術情報は、製品の代表的な特性や性能を説明するものであり、「規格」の規定事項として明記したもの以外は、保証を意味するものではありません。本資料に記載されている情報の誤った使用または不適切な使用等によって生じた損害につきましても責任を負いかねますので、ご了承ください。また、これらの情報は、今後予告なしに変更される場合がありますので、最新の情報については、担当部署にお問い合わせください。本資料に記載された内容の無断転載や復写はご遠慮ください。本資料に記載された製品または役務の名称は、当社および当社の関連会社の商標または登録商標、あるいは、当社および当社の関連会社が使用を許諾された第三者の商標または登録商標です。その他の製品または役務の名称は、それぞれ保有者の商標または登録商標です。